

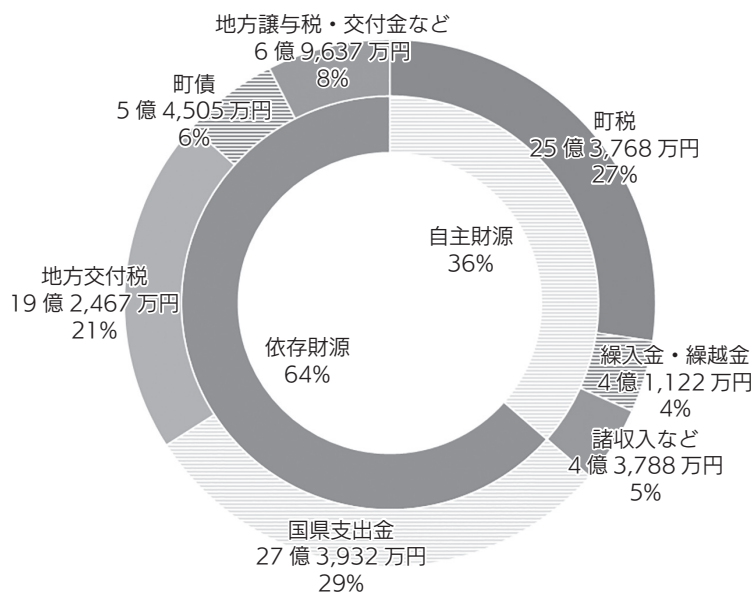
令和5年度決算報告

☎ 総務課財政係 ☎ 0943-32-1255

単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

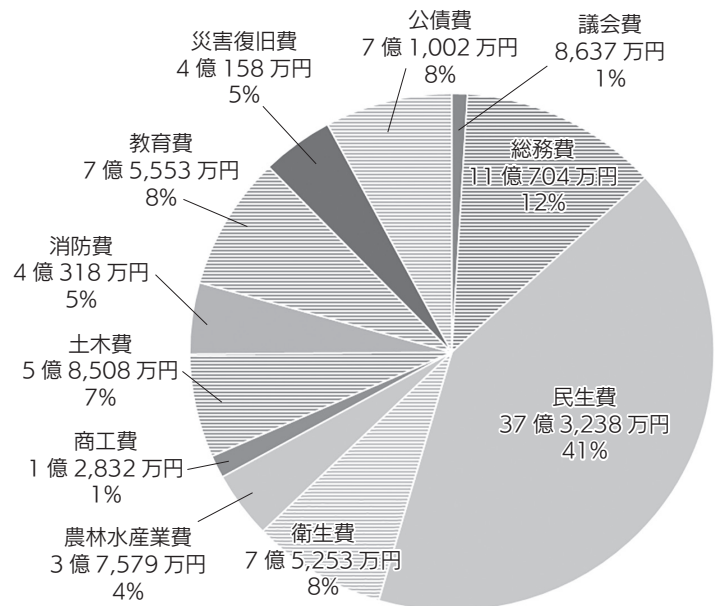
一般会計歳入 92 億 9,218 万円

国や県に頼った依存財源が64%、町が調達できる自主財源は36%です。地方交付税、国庫支出金、県支出金は豪雨災害の災害復旧により増額しました。公共施設整備基金繰入金の減額、庁舎建設事業による借入の減少により、全体で7億2万円減少しました。



一般会計歳出 90 億 3,781 万円

民生費（住民税非課税世帯等臨時特別給付事業）、消防費、公債費、災害復旧費、衛生費、農林水産業費が増額しましたが、そのほかすべての項目の減少により、全体で5億6,168万円減少しました。



歳入・歳出の差し引きは2億5,437万円。翌年度に繰り越した事業の財源を差し引いた実質収支額は1億7,446万円の黒字となり、前年度の実質収支額を控除した単年度収支は2億1,078万円の赤字となりました。

令和5年度に実施した主な事業

・住民税非課税世帯等臨時特別給付事業（追加交付分を含む）
2億2,922万円

・住民税非課税世帯の生活を支援するため、2047世帯へ各3万円、追加交付で1963世帯へ各7万円を給付しました。

・子育て世帯への物価高騰対策支援事業
3529万円

・子育て世帯の生活を支援するため、商品券1万円分を3330人に給付しました。

・出産・子育て応援交付金給付事業
2207万円
・出産や子育てに不安を感じる養育者を支援するため、妊娠時に5万円、出産時に10万円を給付しました。

・低所得の子育て世帯生活支援特別給付金
1586万円

・18歳未満の児童を養育する住民税非課税世帯など、226世帯へ各5万円を給付しました。

・GIGAスクール推進事業
2144万円
・各小中学校にタブレット端末を配備するなど、ICT教育の促進

特別会計

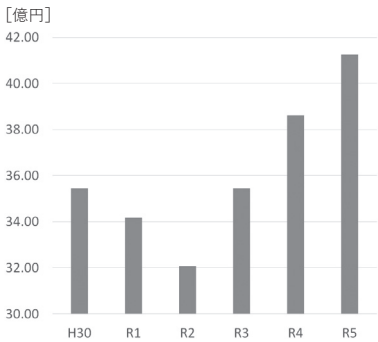
3 つの特別会計の実質収支に赤字はありませんでした。国民健康保険特別会計は 3,076 万円、後期高齢者医療特別会計は 840 万円の黒字となりました。

町では、将来の医療費抑制に向けて、特定健診受診や保健指導を推進しています。

	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	23 億 1,194 万円	22 億 8,119 万円	3,076 万円
後期高齢者医療特別会計	3 億 1,531 万円	3 億 691 万円	840 万円
広川防災ダム管理特別会計	2,305 万円	2,251 万円	54 万円

基金（町の貯金）

年度間の財政調整や地方債の償還、学校建設など、特定の目的のために 15 種類の基金を積み立てています。令和 5 年度末の現在高は、学校建設基金などの積み立てにより、前年度より 2 億円以上増加しました。

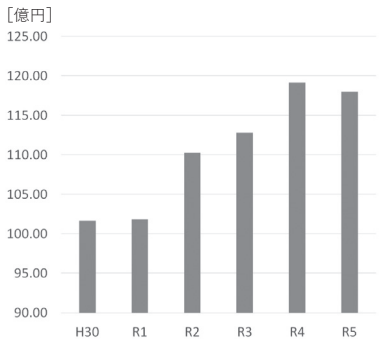


	決算時現在高	前年度比
財政調整基金	18 億 2,091 万円	+4,061 万円
減債基金	3 億 6,043 万円	+3,286 万円
学校建設基金	6 億 5,419 万円	+1 億 4,894 万円
公共施設整備基金	8 億 4,919 万円	+4,624 万円
ふるさとづくり基金	1 億 5,883 万円	+366 万円
国民健康保険財政調整基金 (特別会計)	4,359 万円	△ 1,345 万円
そのほか 9 基金	2 億 3,829 万円	+454 万円
合計	41 億 2,543 万円	+2 億 6,340 万円

町債（町の借金）

一般会計、ダム会計、水道事業会計、下水道事業会計の 4 つの会計で借り入れています。

庁舎建設事業や臨時財政対策債の起債額が減少しましたが、下水道事業は、事業の進捗により増加しました。



	起債残高	前年度比
一般会計	86 億 2,897 万円	△ 1 億 2,339 万円
ダム会計	7,363 万円	+500 万円
水道事業会計	1 億 8,057 万円	△ 5,080 万円
下水道事業会計	29 億 1,769 万円	+5,518 万円
合計	118 億 86 万円	△ 1 億 1,401 万円

- その他の事業**
- を図りました。

・災害復旧事業（農地農林業および公共土木施設）
4 億 158 万円
昨年 7 月の豪雨災害で被災した施設の復旧を図るため、住民生活の基盤である道路・河川などの復旧工事を行いました。

・被災住宅支援事業費
1944 万円
昨年 7 月の豪雨災害で被災された人へ、住宅応急修理（29 件）などの支援を行いました。

・庁舎建設事業費
1 億 2609 万円
外構工事などのⅡ期工事は昨年 8 月 31 日に完了し、11 月 1 日に「新庁舎完成記念植樹式」を実施。すべての庁舎建設事業が終了しました。

・小学校施設管理費
8349 万円
上広川小学校のトイレ洋式化や屋内運動場照明の LED 化、給食室床防水工事のほか、中広川小学校の校舎屋上防水改修工事などを行いました。

公営企業会計

上水道・下水道事業は、加入者のみなさまの負担金を主な財源として運営しています。資本的収支の不足額

は、損益勘定留保資金（減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金）などで補いました。

			歳入	歳出	差引
水道事業	収益的収支	水道水をお届けするための経費とその財源	3 億 8,925 万円	3 億 867 万円	8,058 万円
	資本的収支	水道施設をつくるための経費とその財源	1,959 万円	9,082 万円	△ 7,123 万円
下水道事業	収益的収支	下水を処理するための経費とその財源	3 億 9,472 万円	3 億 4,817 万円	4,655 万円
	資本的収支	下水道施設をつくるための経費とその財源	3 億 640 万円	4 億 2,399 万円	△ 1 億 1,759 万円

財政状況

☒ 健全化判断比率

実質赤字比率

標準財政規模に対する歳入総額から歳出総額を差し引いた額の割合

連結実質赤字比率

全会計の赤字額から黒字額を差し引いた額を標準財

政規模で割った比率（一部事務組合、広域連合、公社などは対象外）

実質公債費比率

一般会計が負担する元利償還金と準元利償還金の標準財政規模に対する過去 3 年度平均の比率（収入のうち、どれくらい借金の返済にあててい

るかを示すもの）

将来負担比率

将来支払う可能性のある負担の現時点での残高を指標化した数値で、財政を圧迫する可能性を示す指標（債務負担行為支出予定額や一部事務組合などに関する負担見込み額も含む）

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
令和 4 年度	— (△ 7.97%)	— (△ 36.11%)	8.4%	34.9%
令和 5 年度	— (△ 3.5%)	— (△ 32.39%)	8.4%	24.1%
早期健全化基準 (イエローライン)	15.0%	20.0%	25.0%	350.0%
財政再生基準 (レッドライン)	20.0%	30.0%	35.0%	—

☒ 経常収支比率

経常経費（人件費、町債の返済金など）が経常収入（町税など）に占める割合。数値が高いほど財政運営に余裕がないといわれています。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
86.0%	89.8%	91.3%

※類似団体平均（令和 4 年）……88.2%

☒ 財政力指数

行政で必要とされる標準額に対する税収の標準額の割合（過去 3 年度の平均値）。数値が高いほど財政力が強いとされています。

令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
0.62	0.61	0.60

※類似団体平均（令和 4 年）……0.52